

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



8月の銅の概況及び9月の見通し (4)

	予想レンジ	
LMEセトル	8,100-8,800ドル	●
建値	121万円-136万円	★
為替	145円~150円	円安

(1か月間TTM)

◆伸銅品生産

7月伸銅品生産量速報値は5万2910トン、前年同月比17.2%減少した。19か月連続マイナスとなった。マイナス期間は、前回2018年末から2020年の25か月以来の長期である。

14品目中11品目が前年同月実績を下回った。このところ好調な銅線に加えて、今回銅板と黄銅板が前年同月実績を上回った。

伸銅品の各用途別の需要概況は、車載向け以外の半導体関連需要にも増える兆候が見えてきた。ただ、まだ本格的な回復と言えない。民生用途も中国を中心に需要の回復が遅れている。エアコンは、引き続き据え付け工事が進まないため、販売も伸びず、猛暑になっても回復しない。住宅設備関連は、着工件数の減少が見えてきて、全体的に低調である。

銅 条

同比11ヶ月連続マイナス。3月以来の2万トンを超えた。半導体は、車載向け以外にスポット的に増加が見られるが、全体を通すと低調である。自動車の在庫は、ティア1まで在庫解消したが、その下のサプライチェーンでまだ在庫を抱えている。

黄銅棒

同比19ヶ月連続マイナス。住宅設備向けは、ガス機器、給湯機器とも低調である。水栓金具も非接触タイプ以外伸びて来ない。

◆電 線

前年比+1.8%の5万1800t。うち、国内g+2.8%、輸出が-36.4%。

◆銅輸出

電気銅が+7.2%の6万3479t。スクラップは+28.4%の3万4098t。

■見通し

◆自動車

7月の自動車生産が+13%。8月国内販売台数が前年比+19.4%。7か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり。今後に期待。

◆伸銅品生産

7月伸銅品生産量速報値は5万2910トン、前年同月比17.2%減少し、19か月連続マイナスとなった。マイナス期間は、前回2018年末から2020年の25か月以来の長期である。全体的に悪化、回復のめどが立たない。

◆電 線

前年比+1.8%の5万1800t。うち、国内が+2.8%、輸出は-36.4%。自動車生産が堅調だが、その他の減少大きく結果振るわず。今後に期待。

■スクラップ景況予想

◆一次問屋 (流通)

今月銅建値が131万から127万と下落傾向だった。在庫は伸銅品生産減。発生減から在庫薄。

需要面に関しては、今月も自動車生産販売の回復から一定の需要は出るが、民生用途も中国を中心に需要の回復が遅れている。スマホ・エアコン需要の回復が遅れているため需給は低位安定。

◆LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される

- ①米FRBの金融政策
- ②中国景気回復の動向

①に関しては、8月25日のパウエルFRB議長の講演が市場にサプライズを与えるものではなかったことから、9月の連邦公開市場委員会 (FOMC) での利上げは想定されていないとの見解。

②に関しては、不動産バブル崩壊が深刻化する中国において、大手デベロッパーの不良債権が次々と明るみに出ている。当局としては対策を発表しているもののイタチごっこが現状。景気後退は避けられない。これらを踏まえた今月の銅価格は、8100-8800ドル (セトル) との予想。ドル円値は145-150円 (TTM) 台を予測。銅建値に関しては、121万-136万円程度と予測している。

(「8月の銅の概況及び9月の見通し」終わり)

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ugico OHSITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本 社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海 外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ugico.co.jp>